

議員氏名：渡辺 訓任

議案番号：議案第30号

案件名：令和8年度二宮町一般会計予算

討論内容：

私は、町長提出議案第30号、令和8年度一般会計予算案について反対の立場で討論します。

一般会計予算案については、多様な学び学校の推進、1か月児の健康診査補助金、実践に合わせた防災訓練など、新事業について、町の暮らし、安心、教育を進めるものとして大いに評価をしていますが、3月定例会では、次の3つの点から反対をしました。

1つ目は、在宅障がい者の自立支援に関してで、自立支援策の拡充は大きく評価するものの、障がい児者福祉手当を廃止したことについては、誰も取り残さない町政とは相入れないものと考えました。

2つ目は、こどもまんなかについてでした。子ども・子育て支援の方向は歓迎しますが、その負担を新たに町民に求めている点を問題としました。

3つ目は、環境問題への取り組みが不十分であるというものでした。エネルギーの地産地消など、地域経済と再生エネルギー活用を結びつけた具体的な取り組みが求められていると考えました。

現在、暫定予算の中で新たな事業に制約がかかっている点については、私も大変重いものと受け止めています。障がい者や高齢者のタクシー券利用の拡大、妊婦健康診査補助金の拡充などの、暮らしを支える事業が遅れること、環境基本計画や福祉計画の策定など、暮らしに密着する計画の策定が遅れること、さらに、様々な事業の入札が遅れてしまうということで、町民の暮らしをよくしていくという点からは、大きな問題だと認識しています。

今回再提出された一般会計予算案には、将来の財政についての検討を進めるという点が盛り込まれました。しかしながら、現在の町民の要望、要求に応える新たなものは盛り込まれていないと考え、予算案に対する態度を変えるに至りませんでした。財政の厳しさを強調するのであれば、予算編成に当たって、図書館改修も含め、大型事業の見直しなどもされるべきではないでしょうか。このことを述べて、討論いたします。